

全苗連だより

Vol. 127 (7月号)

令和6年7月24日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

令和6年度山林種苗等生産事業功労者並びに 永年勤続常勤役職員の表彰について

令和6年度山林種苗等生産事業功労者並びに永年勤続常勤役職員の表彰者につきまして、7月17日に全苗連審査会が開催され、以下の方々に決まりました。(表彰日は、9月4日付け)

栄えある受賞誠におめでとうございます。

表彰式は、北海道で開催される全苗連生産者の集いにて執り行われます。

なお、山林種苗等生産事業功労者に係る林野庁長官感謝状につきましては、林野庁において一昨年、林業関係業務功績者等表彰規程及び取扱いが新たに定められ、団体創設から5年毎の機会に表彰されることとなっています。このため全苗連は創立75周年(全苗連設立は昭和25年)となる令和7年が表彰年となりました。

☆ 令和6年度 山林種苗等生産事業功労者☆ (敬称略)

全苗連会長賞

北海道	松村 幹了
栃木	柏木 栄
愛知	前田 臣代
広島	古本 啓之
熊本	小村 哲典

☆ 令和6年度 永年勤続常勤役職員☆ (敬称略)

全苗連会長賞

北海道	山内 翔太
-----	-------

(技術情報)

令和6年度関東地区特定母樹等普及促進会議が 開催されました

令和6年6月25日(火)から26日(水)、令和6年度関東地区特定母樹等普及促進会議(国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター主催)が開催されました。今年度はスギをテーマ

として、室内討議は富士市役所大会議室(写真 1)において、現地検討会はスギ特定母樹等展示林(静岡県富士宮市、日本製紙(株)北山社有林；写真 2)とスギ交配苗試験林(静岡県富士市、富士市有林；写真 3)において行われました。



写真 1 室内討議(富士市役所大会議室)

室内討議の概要

今年度は関東育種基本区における次世代化戦略や、エリートツリー及び特定母樹の選抜の現況と今後の見通し、静岡県内で行われている森林・林業施策と優良種苗安定供給の取組や閉鎖型採種園の導入に向けた取組について主に報告がありました。

関東育種基本区にて、林木育種センターが開発したスギのエリートツリーの累計数は 170 系統、そのうち特定母樹に指定された系統の累計数は 57 系統となっており、今後のエリートツリーの選抜見込みは 25～35 系統、特定母樹申請見込みは 20～30 系統となっています(令和 6 年 3 月現在)。

また、林野庁からの情報提供の一環として、昨年 5 月「花粉症に関する関係閣僚会議」において決定された「花粉症対策の全体像」について説明がありました。10 年後の令和 15 年までに、スギ人工林の伐採を現状の約 5 万 ha から約 7 万 ha まで増加させることや、特定苗木を含む花粉の少ないスギ苗木の生産割合を、スギ苗木全体の 9 割以上に引き上げることが目標とされています。同年 10 月には「花粉症対策 初期集中対応パッケージ」が決定されており、花粉発生源対策において、花粉の少ない苗木の生産拡大など関連する各種取組を着実に実行していくことが求められています。

スギ特定母樹等展示林(日本製紙(株)北山社有林)の概要

林木育種センターでは、都県、市町村、民間企業、国有林、森林整備センター、篤林家と連携しながら、エリートツリーや特定母樹に由来する苗木等を植栽した展示林を設定しています。これらの展示林は、エリートツリーや特定母樹に由来する苗木の成長等を実際に見ていただくことにより、それらの苗木の特性への理解を深めていただくことを目的としています。

林木育種センターと日本製紙(株)は、エリートツリーを普及するため、スギエリートツリー等展示林(日本製紙(株)の北山社有林(静岡県富士宮市))を 2022 年 3 月に設定しました。今回設定した展示林は、官民連携による初めてのエリートツリー等の展示林です。

この展示林は、スギのエリートツリーの成長や材質等の特性を評価するため、環境条件の異なる5つの試験区画で構成され、スギのエリートツリー等116系統（うち特定母樹17系統）と第一世代精英樹31系統の苗木（いずれもさし木苗）がランダムに植栽されています。また、試験区画内の視察コース沿いに6か所の展示区画を設けています。エリートツリー等と第一世代精英樹が交互に植栽されており、これらの特性の違いを比較できるようになっています。



写真2 スギ特定母樹等展示林(日本製紙(株)北山社有林)

スギ交配苗試験林(林木育種センターと静岡県共同試験地)の概要

林木育種センターと静岡県農林技術研究所森林・林業研究センターは育種集団林からの次世代のエリートツリー、特定母樹の選抜を目指し、2015年5月に富士市有林(静岡県富士市大淵)に約800本のスギ苗木を植栽し(単木混交)、スギ交配苗試験林を設置しました。植栽した系統は①エリートツリー(育種センター開発)×静岡県の第一世代精英樹、② $F_1 \times F_1$ (※ F_1 :静岡県第一世代精英樹×静岡県第一世代精英樹)、③(静岡県第一世代精英樹×富山不稔)(Aa)×大井7号(Aa)(A:有花粉の遺伝子、a:無花粉の遺伝子)、④静岡県第一世代精英樹自然交配(少花粉品種を含む)、⑤裸苗(静岡県第一世代少花粉品種)です。

現在、優良候補木は18本に絞り込んでおり、2024年秋季(10成長期経過)にエリートツリーの選抜、特定母樹への申請に向けて、本調査を行う予定です。



写真3 スギ交配苗試験林(富士市有林)

(林木育種センター提供)

全苗連・苗組の行事予定

- 7月11～12日 全苗連東北・北海道地区協議会総会(福島県苗組)
- 7月17日 令和6年度全苗連第2回正副会長会議(全苗連事務室)
- 7月22日 日本造林協会通常総会(市ヶ谷カンファレンスセンター)
- 8月2日 全国林業種苗生産会(仮称)シンポジウム(東京都江東区深川江戸資料館ホール)
- 9月4日 令和6年度全苗連第2回理事会(カナモホール(札幌市民ホール))
- 9月4～5日 第8回全苗連生産者の集い(北海道)
- 10月31日 北海道・東北地区林業用種苗需給連絡協議会(福島県)
- ～11月1日
- 11月14～15日 近畿地区林業用種苗需給連絡協議会(三重県)
- 11月18日 九州地区林業用種苗需給連絡協議会(福岡県)
- 11月19日 九州苗連協議会総会(福岡県)
- 11月25日 中国地区林業用種苗需給連絡協議会(島根県)
- ～26日
- 11月29日 東海・北陸地区林業用種苗及び緑化木需給連絡協議会(三重県)
- 12月12日 四国地区林業用種苗需給連絡協議会(徳島県)
- ～13日